

世界の主な地震

平成 20 年（2008 年）11 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

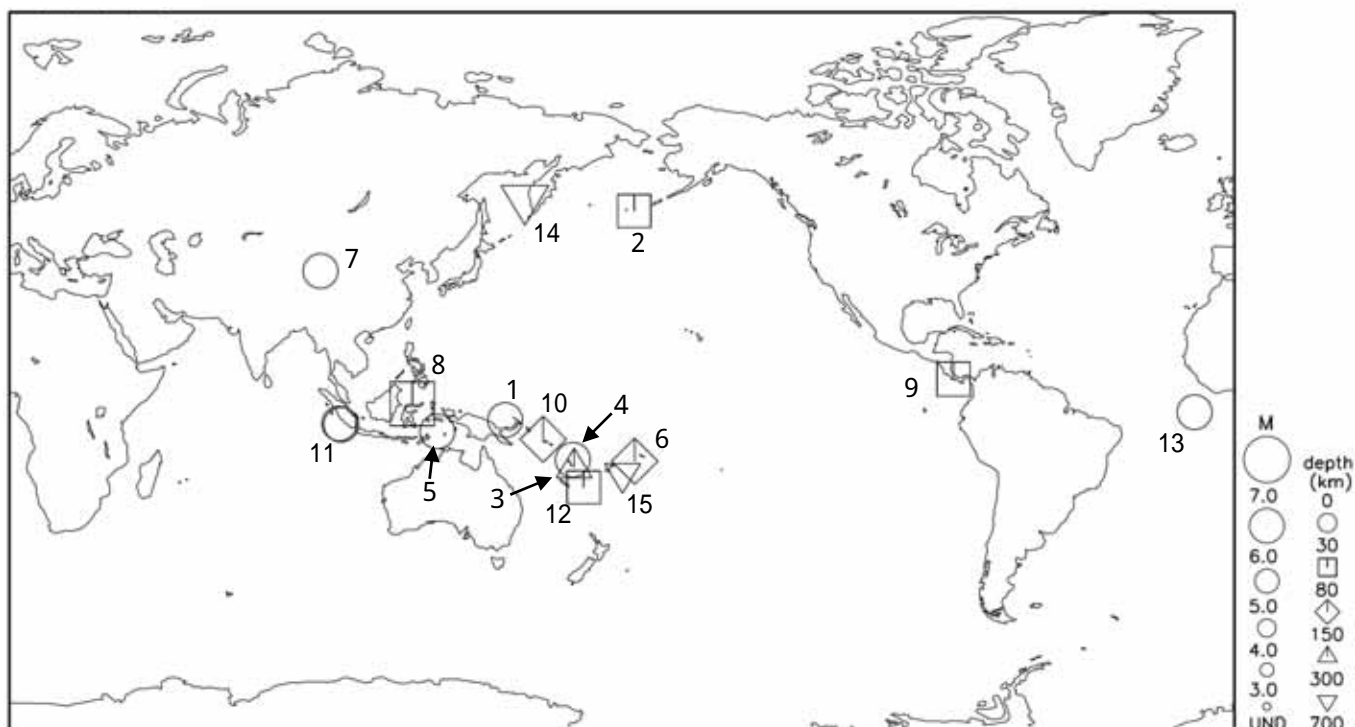


図 1 平成 20 年（2008 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは USGS による mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、及び Global CMT による Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 20 年（2008 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考(被害状況など)
1	11月01日10時13分	S 3° 24.6'	E148° 41.4'	10	5.3	5.8	6.0	ビスマルク海	
2	11月02日22時48分	N51° 33.8'	W174° 22.7'	36	5.7	5.8	6.1	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島	
3	11月05日03時35分	S17° 07.3'	E168° 25.5'	207	5.7		6.3	パヌアツ諸島	
4	11月07日16時19分	S14° 49.7'	E168° 01.9'	13	6.0	6.3	6.4	パヌアツ諸島	
5	11月08日01時04分	S 6° 45.1'	E129° 15.1'	10			6.2	バンドラ海	
6	11月08日16時49分	S15° 13.3'	W174° 13.9'	121	5.4		6.0	トンガ諸島	
7	11月10日10時22分	N37° 33.8'	E 95° 49.9'	19	6.4	6.4	6.3	中国、チンハイ省	負傷者 3 人、建物被害など
8	11月17日02時02分	N 1° 17.4'	E122° 06.0'	30	6.5	7.0	7.3	インドネシア、スラウェシ、ミナハサ半島	死者 6 人以上、負傷者 77 人以上、建物被害 1000 件、NWPTA 発表
9	11月19日15時11分	N 8° 17.4'	W 82° 56.5'	32	5.9		6.2	パナマ-コスタリカ国境	小被害あり
10	11月21日16時05分	S 8° 56.7'	E159° 33.2'	118	6.0		6.0	ブーゲンビル-ソロモン諸島	
11	11月23日01時00分	S 4° 24.6'	E101° 13.0'	10	5.9		6.4	インドネシア、スマトラ南部	
12	11月23日01時01分	S22° 30.1'	E171° 09.9'	59	5.7		6.4	ローヤリティー諸島南東方	
13	11月23日03時49分	S 1° 09.5'	W 13° 55.5'	10	5.9		6.3	アセンション島北方	
14	11月24日18時02分	N54° 12.1'	E154° 19.0'	493	6.5		7.3	オホーツク海	
15	11月29日14時59分	S18° 41.5'	W177° 42.9'	386	5.7		6.0	フィジー諸島	

- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(平成 20 年 12 月 6 日現在)。ただし、Mw は Global CMT による。また、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード(Ms の欄に括弧を付して記載)は気象庁に、被害状況は総務省消防庁による。
- ・ 震源時は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・ NWPTA は気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報である(地震・火山月報(防災編)2005 年 5 月号参照)。

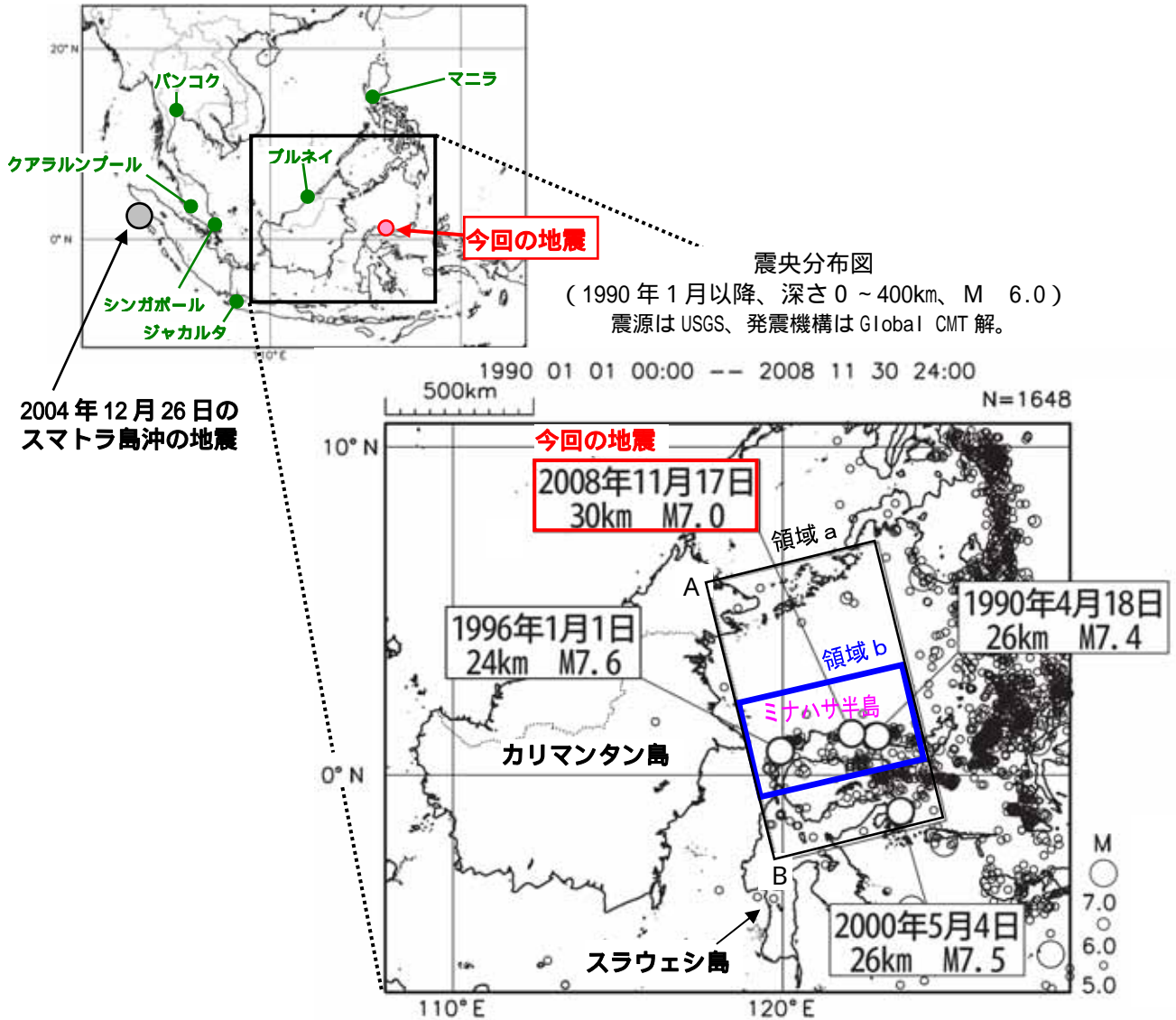
11月17日のインドネシア、スラウェシ島の地震について

2008年11月17日02時02分（日本時間）インドネシア、スラウェシ島のミナハサ半島でMs7.0(米国地質調査所[USGS]による表面波マグニチュード)の地震が発生した。発震機構（Global CMT解）は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレートの沈み込みに伴い発生した地震である。

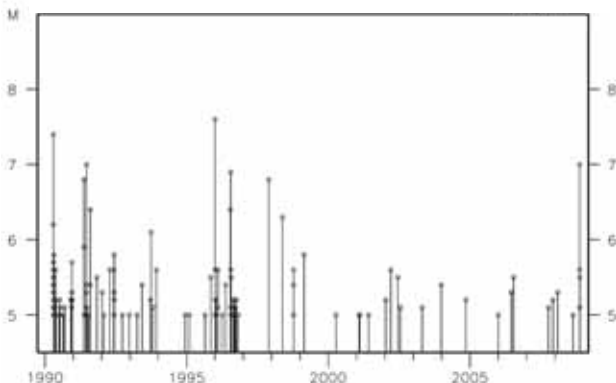
この地震により死者6人以上、負傷者77人以上、建物被害1000件などの被害が出ている（12月6日現在、USGSによる）。なお、検潮所における津波の観測の報告はない。

インドネシア、スラウェシ島のミナハサ半島周辺（領域b）は北からプレートが沈み込んでいるところであり、1990年1月以降の活動を見るとM7.0以上の地震が時々発生している。

なお、気象庁はこの地震について「北西太平洋津波情報」および「遠地地震の地震情報」（日本国内向け、日本へ津波の影響なし）を発表した。



領域b内の地震活動経過図（深さ0~100km）

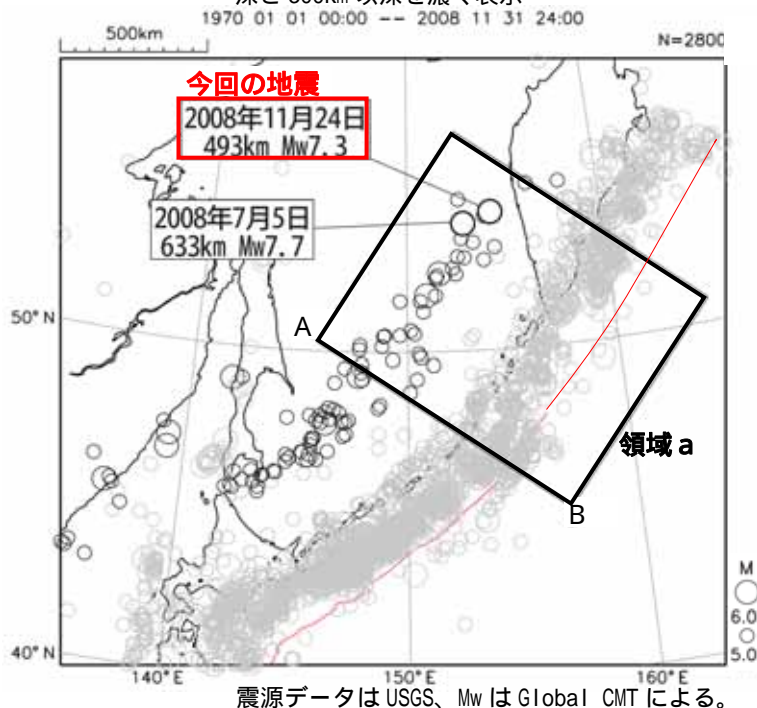


領域a内の断面図（A-B投影）



11月24日 オホーツク海の地震

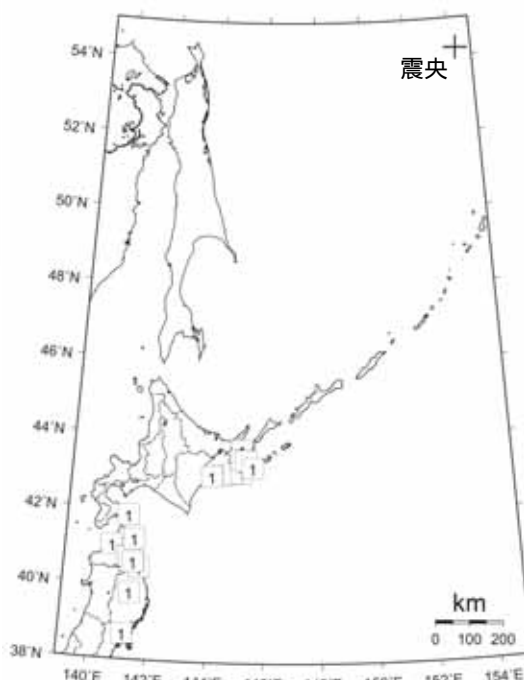
震央分布図
(1970年1月以降, M 5.0、深さ0~700km)
深さ300km以深を濃く表示



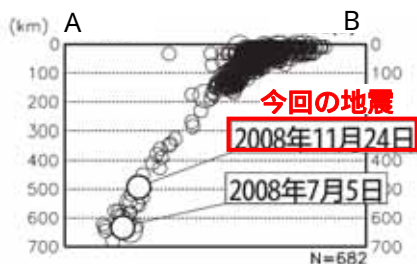
2008年11月24日18時02分(日本時間)オホーツク海の深さ492kmでMw7.3(震源位置は米国地質調査所[以下USGSと表記]モーメントマグニチュードMwはGlobal CMTによる)の地震が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生したと考えられる。発震機構(Global CMT解)は、北西-南東方向に張力軸をもつ型であった。また、この地震により日本国内で震度1を観測した。

今回の地震の震源周辺では、今年の7月5日にもMw7.7(深さ633km)の地震が発生し日本国内で震度2~1を観測した。

今回の地震の震度分布図



領域 a の断面図 (A - B 投影)



7月5日の地震の震度分布図

周辺の発震機構分布図 (Global CMT 解、1976年1月以降、Mw 5.0、深さ100~700km) 300km以深を濃く表示

